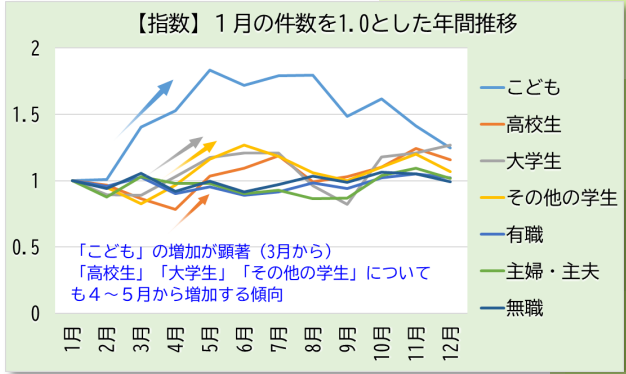
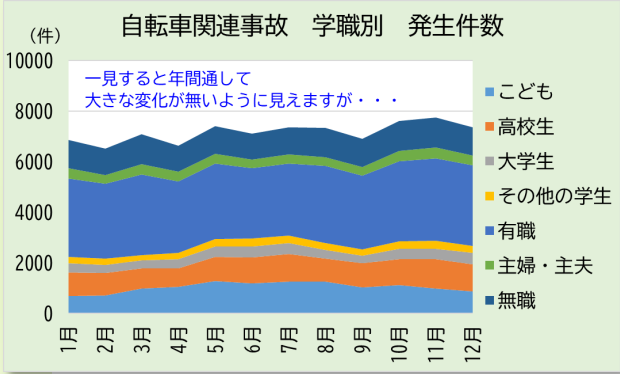


ご存じですか？ **巷で言われる?!**



# 春先に自転車事故が増えるってホント？

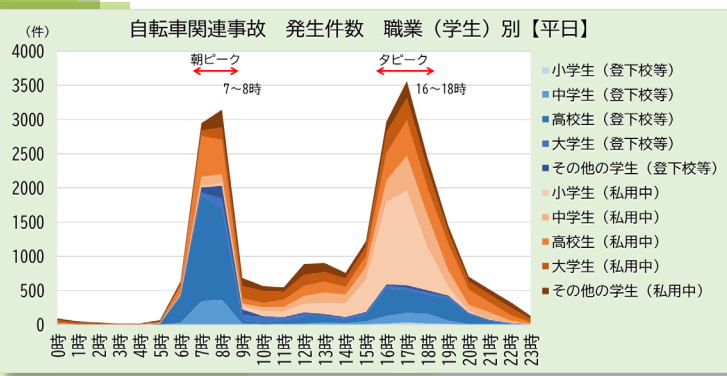
2008年～2022年までの15年間のデータに基づく、自転車関連事故の件数を見ると、全体の件数に大きな変化は有りませんが、学識別で見ると特徴的な世代があります。



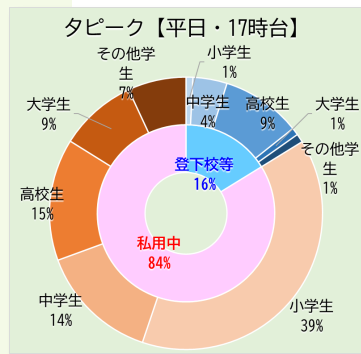
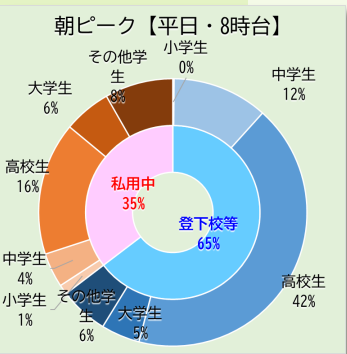
(出典) 件数：2008年～2022年の事故データより算出

1月の発生件数を1とすると、「子ども」が関連する自転車事故が3月から急増していることがわかります。そのほか、4～5月からは学生が一般的に増えます。

子ども・学生と聞くと、通学中の事故を思い浮かべると思いますが、実際どのような場面で事故に遭遇しているのでしょうか。時間帯・職業別に見てみましょう。



(出典) 件数：2008年～2022年の事故データより算出。登下校等には授業中を含む。



(出典) 件数：2008年～2022年の事故データより算出。登下校等には授業中を含む。

7～8時台と16～18時台に集中していますが、この二つのピークの内訳は全く異なります。

朝ピーク（8時台）は、登下校等が65%を占め、そのうち最も多いのが高校生です。当然ですが、小学生は通学に自転車を使わないため殆ど含まれません。

一方、タピーク（17時台）は、登下校等の割合が少なく、84%が私用中に起きています。そのうち最も多いのが小学生（39%）で、次いで高校生（15%）、中学生（14%）と続きます。

学生の自転車事故って通学中よりむしろ私用中の事故が多いんですね。